

第 22 回 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（要旨）

日時：令和 2 年 4 月 9 日（木） 10：00～

場所：401 会議室

【協議事項】

- ・緊急経済対策への対応確認及び愛知県緊急事態宣言発令への対応について

市長：新聞によると、本日知事が国に対し、愛知県を緊急事態宣言の対象地区への追加を要請したとある。諮問会議で決まったら、宣言の対象区域となるので、緊急事態宣言が出るという前提で、その準備を始めてほしい。既に対象区域となっている 7 都府県の動きなどを情報収集し、犬山市に置き換えて準備に入りたい。例えば、もし指定されたら、学校休業の再延長や、観光・経済への対応、市民へ自粛要請が出た場合の啓発方法などである。アンテナを高く、情報に敏感になって、対応を考えること。

副市長：先ほど、連絡会で宣言中の 7 都府県を部署ごとに対応状況を確認するよう割り振った。部単位でそれぞれの都府県の情報を積極的に収集し、犬山市に置き換え、どのような対応が必要かを考えていってほしい。では次に、子育て監から幼稚園の関係の情報提供を。

子育て監：今日新聞に、宣言を受け、東京都内では休園した園もあると出ていた。コロナの関係で、休園した場合に、医療従事者の方、ひとり親の家庭の方、公務員、自衛官、消防職などの職種の方は困る可能性があるので、クローズしつつも、限定的に預かっていく必要があると考えており、対象人数を割り出している。4 月 15 日以降には保護者の方に今後の状況を伝えるとしているので、協議を進めていきたいと考えている。

副市長：何か意見はあるか。

教育長：初めての経験なので、対応は難しいが、緊急事態宣言が出る前に、教育長が集まって休業期間も含めて協議していく必要があると考えている。

副市長：公共施設の閉鎖や行催事についても、状況に合わせて延期していく必要があると思うので、準備してほしい。

市長：政府からいろいろな政策が出されているが、隙間や切れ間がある。県の動向はまだわからないが、市独自の施策が必要だと考えている。全国的には市町村独自でいろいろな施策を打ち出している事例もある。本当に必要なところに、必要な支援ができるように、市町村だからこそできるものもあるはず。そのようなものには躊躇なく支援を実施していければと思う。アンテナを高くし、いろんな提案を挙げてもらいたい。

【各部からの報告について】

- ・図書館の貸出しについて

教育長：インターネットで予約を受付、予約したもののみ貸出しを行い、ポストへ返却する方法ならば、早ければ、4 月末くらいには実施可能。他市では、一部開館し、本を直接選んでもらうという自治体もあるが、宣言が出るとそれは難しいと考えている

副市長：閲覧はさせられないか。

教育長：館内に入ってもらえるのは、難しいと考えている。いずれにしても、何らかの手段で貸出

や返却はできるようにする予定。ネット環境のないご家庭には少し不便をかける可能性はある。

市長：以前指示を出した時と局面が変わっている。宣言が出てから緩和していくのは、少し疑問がある。市民から利用に関する強い要望はあるか。

教育長：少しはあるが、そこまでは要望されていない。

市長：宣言が出たら人が動ききっかけを減らしていく必要があるため、貸出や返却も少し見合わせたい。オンライン手続きは平常時からあったほうがよいので、進めておいてほしい。他課にも言えることだが、今我々が行っている手続き、申請、業務は、原則オンラインで行うこと。どうしても難しいものだけ、対面で行うというスタンスで捉えておいてほしい。

副市長：いつ指示がでてでもすぐできるように準備しておくように。

・オンライン学習について

学校教育課長：現在、家庭のネット環境を確認するアンケート調査を準備中。熊本市は、現在アンケート調査を集計中で、端末は2万台在庫があるが、その渡し方も検討しているとのこと。通信料については全て市負担で考えているそうだが、追加で2万台の通信料が経費として発生するところまで確認済み。

市長：Wi-Fiではなく、LTEなのか。

学校教育課長：基本的にはLTEで対応するとのこと。学校の環境がLTEか、Wi-Fiかは再度確認する。

市長：LTEのできるのであれば、LTEがいいが、通信料のことを考えると、他の用途で使用した場合、その分まで市が持つことはないようにしたい。家庭の通信状況を確認することは一刻も早くした方がよく、そこが整えば、対応は可能となる。まずは家庭のネット環境や端末状況をいち早く調査し、その後の話はまた会議で決めていくこととする。

副市長：では、家庭の調査をまずは最短で進めるように。

・会議のオンライン活用について

経営部長：既に全庁的に対一の会議は実施可能となっているので、活用してもらいたい。次に、複数人での会議は、現在、場所や端末のハード面、ソフト面の検討をしている。また、実際にそういったオンライン会議のニーズの調査等もしている。無料で「zoom」というソフトがあるが、セキュリティの面で多少課題があるため、外に出せないような内容の会議の際にそのシステムが使えるのかどうかといった点も含めて、現在整理中。

副市長：不要不急の会議は行う必要はないが、必要な会議は各課で洗い出してほしい。

経済環境部長：農業委員会は、委員に高齢の方が多いので、オンライン会議は正直難しいと考えている。毎月ある会議なので、会議を延期することも検討していく必要がある。委員数は、推進委員、事務局を入れて、25人程度の会議となる。

副市長：501.502 会議室をオープンにして、間隔を開けるなどして開催してはどうか。

市長：会議ができないことで、手続等を待たせるのは役所の都合で、市民等に迷惑をかける話になるので、絶対にいけない。待たせるのではなく、我々で滞らない仕組みを考えていく必要がある、まず考えること。特に許認可に関わるようなことは、避けること。

ニーズに関わらず、できる環境を整えておく方がよい。例えば、遠方から審議会の委員が参加する場合、オンライン会議なら参加できるという方がみえるかもしれない。参加率の増加にも繋がる上、相手方の経費削減にもつながるため、環境は整備しておいてほしい。個人情報の

取り扱いが必要な会議は別として、他の一般的な会議については、基本的に大丈夫なので、急ぎで実施できる環境を整えておくこと。外部機関向けにも、簡単なマニュアル等が準備できていれば案内もできるのではないかな。

経営部長：準備を進める。

・窓口での手続き、待合方法について

副市長：市民の方が来庁しなくてもできる郵送やオンライン申請などの方法を積極的にPRし、案内してほしい。それでも役所の窓口でなければできないものについては、待合場所にパイプ椅子を置いて間隔をとるなど三密にならないように工夫してほしい。

・資材の購入状況について

健康推進課長：非接触型検温器は、業者に確認しても、入荷が未定だが、購入を進めている。

副市長：学校や子ども未来園で大量に希望しても、いきなり揃わないので、1施設1個ずつで分配していく考えでいきたい。順に買い揃え、複数配置していく。

健康推進課長補佐：消毒液も発注はしているが、入荷が未定となっている。手指消毒は在庫がないが、次亜塩素酸は在庫がある。

・手作りマスクについて

防災交通課長：現在窓口対応職員を中心に備蓄マスクを配布しているが、在庫がなくなってきている。入荷も未定で先が読めないため、今月中に職員へ手作りマスクの作成案内を掲示板にて周知する。

副市長：一人3枚程度作成すると、3000枚くらいの数になるので、是非進めてほしい。

・観光客への対応について

副市長：緊急事態宣言が出たら、市営の駐車場の使用についてもGWもあるので、検討していく必要がある。

経済環境部長：今までは、犬山市への来訪を自粛していただくという方向だったが、今後は中止という案内を出していく方向とし、積極的に、観光客を減らすという体制をとっていく。今、観光駐車場を閉鎖した場合、来た観光客が迷ったり、違法駐車に繋がる可能性もあるので、検討が必要かと考えている。

市長：観光については、宣言が出れば、ある程度は減ってくると思うので、状況を見ながらだと思ふ。駐車場については、来させないために閉めるということでもいいか。なにかを実行する際には、その行為の効果を考える必要がある。来てしまう人は来てしまうので、閉める効果はあるが検証も必要。

経営部長：他市町の観光地の対応について、確認しておくといいと思う。

副市長：ほかの観光地においては、観光客に向けて何を発信しているか確認してほしい。経済環境部で確認をお願いします。

・職員の勤務体制について

経営部長：宣言が出ると、移動がかなり制限される。民間企業は、大半がテレワークとなっているが、我々はこうして会議室に集まっている。仕事の中身を見ながら各自で何ができるかを考えてもらうことも必要かと考えている。外には自粛するよう言うておいて、役所は全員が出勤していることはどうかと思ふ、検討しています。

副市長：現実的に、できるところからやっていく必要があると思ふ、万一があると、組織が全

減してしまう。さらに、業務の中でも、やる必要があるかどうかを精査しておいてほしい。現段階では、少人数で継続していけるように、省略できる業務を見直し、現在の業務から縮小してできるかを考えておいてほしい。

市長：考えていく必要のある課題だが、我々が市民のために進めている事業が止まってしまうことはよくない。難しいと思うが、両立して行ってほしい。例えば、行事を全てなしにして、その労力をコロナに向けるのは非常に有効かと思う。各課でそういった案を考えてほしい。

副市長：経済対策の対応では、コロナの影響で仕事が減っているセクションから人事異動を行うこととなる。最後に、緊急事態宣言が出た際の対応だが、県の対応がすぐ出てくるか不明だが、市民へは発信していく必要があるので、その準備を。

企画広報課長：その際には、イベントや施設情報も、併せて情報発信していく必要があると思うが、現時点では、先を見越して、5月末まで自粛していくということによいか。

市長：それで問題ない。

副市長：他になければ、これで会議を終了する。